

対象：経営者、営業、総務の皆様

経営実務セミナーのご案内

コスト削減の勘どころとはなにか

全社的コスト削減セミナー

～各企業での成功事例をもとにした実践ノウハウを提供～

講師：^{かすい}粕井 ^{たかし}隆氏 東邦ビジネスコンサルタント(株) 代表取締役 経営コンサルタント

経営環境の大変革時代を勝ち残るためには、たとえ減収でも増益を実現できるような筋肉質の企業体質を構築することが不可欠です。縮小均衡型コストダウンでは、ジリ貧業績を招くばかりです。トップの強力なリーダーシップのもと全社一丸で戦略的なコストダウンを断行することが、経営強化の決め手です。

本セミナーでは、各企業での成功事例をもとにした実践ノウハウを提供します。

日時 平成21年12月3日(木) 10:00～16:30 **会場** 中国銀行本店 会議室

セミナーカリキュラム

1 勝ち組の「コストダウン経営」とは

- (1)競争激化時代に求められる「コストダウン経営」とは
- (2)自社のコスト構造を改革せよ！
 - ①コスト構造改革が利益を創出する
 - ②固定費型企業のコストダウン
 - ③変動費型企業のコストダウン
- (3)間違ったコストダウンがジリ貧、減益を招く
- (4)戦略型コストダウン経営の進め方

2 自社のコスト構造を正しくつかめ！

- (1)財務分析でコスト構造変化を把握せよ！
- (2)損益分岐点分析で利益構造を確認せよ！
- (3)独立採算分析で赤字部門の責任を明確にせよ！
- (4)個別採算分析で赤字商品、赤字得意先をチェックせよ！
- (5)担当者別採算分析で赤字社員を洗い出せ！
- (6)直間比率分析で仕事のムダを発見せよ！

3 全社的コストダウンの着眼点

- (1)過去の「仕組み」「やり方」「常識」を再点検せよ！
- (2)「総合拡大経営」から「絞り込み経営」に転換せよ！
- (3)赤字事業は思い切って撤退せよ！
- (4)「小さな本社」と「小さな管理」を実現せよ！
- (5)社員1人当たりの人件費・原価を把握せよ！
- (6)仕事・管理・会議のムダをなくせ！
- (7)ゼロ予算方式で経費を削減せよ！
- (8)人件費の支払いを変動費化せよ！

4 部門別コストダウンの実践ポイント

- (1)自部門のコストアップ要因を分析せよ
 - ①ムダ
 - ②ムリ
 - ③ムラ
 - ④ロス
 - ⑤ミス
 - ⑥イレギュラー
 - ⑦手持ち
 - ⑧手直し
 - ⑨過剰
 - ⑩手作業
 - ⑪未熟
 - ⑫悪習慣
- (2)営業部門のコストダウン
 - ①販売方法の改革
 - ②営業活動の重点化
 - ③営業効率の向上
 - ④営業経費の削減
- (3)製造部門のコストダウン
 - ①直接加工時間比率の向上
 - ②操業度・稼働率の向上
 - ③歩留率・良品率の向上
 - ④製造方法の抜本的見直し
- (4)物流部門のコストダウン
 - ①管理手法
 - ②物流方法
 - ③社内の協力体制
 - ④社内分社化
- (5)開発部門のコストダウン
 - ①テーマの重点化
 - ②開発管理
 - ③ヒット率向上
 - ④外部提携・活用
- (6)事務部門のコストダウン
 - ①業務の削減
 - ②適正な分業
 - ③時間管理の徹底
 - ④アウトソーシング

5 購買・外注費コストダウンの進め方

- (1)購買管理の10原則
- (2)購入価格のチェック法
- (3)購買交渉のテクニック
- (4)新規取引先の見つけ方
- (5)外注先指導によるコストダウン
- (6)購買業績の評価システム

6 コストダウンの推進体制を確立せよ！

- (1)横断型プロジェクトチームを構築せよ！
- (2)コストダウンを年度部門計画にドッキングせよ！
- (3)期中の進捗チェックを徹底せよ！
- (4)コストダウン効果を評価・賃金に連動させよ！

まとめ：コストダウン成功に向けて

主催 中国銀行・岡山経済研究所

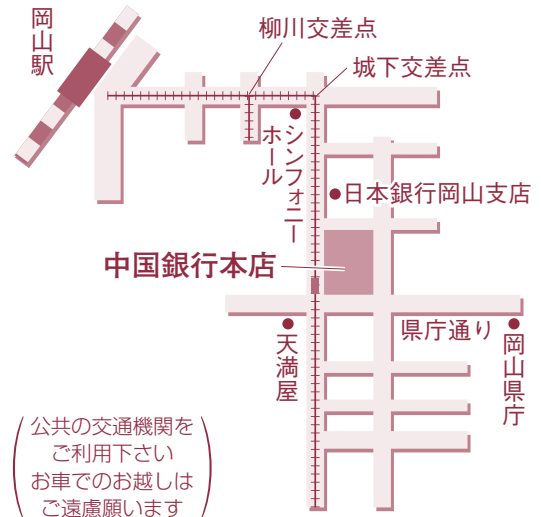
講師略歴

東邦ビジネスコンサルタント(株) 代表取締役

経営コンサルタント **粕井 隆氏**

1976年神戸大学経営学部卒。朝日監査法人（現あずさ監査法人）では公認会計士、コンサルティング会社ではチーフコンサルタント（経営計画策定、営業システム強化を担当）として活躍。1985年より現職。現在まで、多くの企業で経営戦略の指導及び経営システムの構築を行い成果をあげる。戦略経営計画策定から組織・人事・業績管理・業績評価システムまで、経営全般にわたる診断・指導や経営者の外部ブレーンとして高い評価と信頼を得ている実践派コンサルタント。

【会場案内図】



●定員 / 50名

定員に達した時点で締め切らせていただきます。

●参加費（テキスト代、消費税含む）

維持会員	8,400円
賛助会員	14,700円
会員でない方	21,000円

※昼食はご用意しておりません。各自でお取りください。
維持会員……年会費3万円の方
賛助会員……年会費1万円の方

●お申込み方法

- 参加申込書にご記入の上、中国銀行本・支店の窓口、または岡山経済研究所までお早めにお申込み下さい。当研究所のホームページからもお申込みいただけます。
- 折り返し、受講票と請求書、振込用紙をお送りします。開催日の前日までにお振り込み下さい。

●その他

- ・ご都合により代理出席も差し支えありません。
- ・参加費は、ご欠席の場合も原則としてお返しいたしません。
- ・録音はご遠慮下さい。

●お問い合わせ先

岡山経済研究所
TEL 086-234-6534
FAX 086-231-5303
E-mail ori@mx.mesh.ne.jp
URL <http://www.okayama-eri.or.jp/>

----- キリトリ線 -----

至 岡山経済研究所
FAX 086-231-5303

経営実務セミナー参加申込書

平成 年 月 日

開催日 及びテーマ	12月3日(木) 『全社コスト削減セミナー』		
フリガナ	業種		
会社名	電話番号	() -	
	担当者		
所在地	□□□□-□□□□		
会員区分	ア. 維持会員 イ. 賛助会員 ウ. 会員でない方 (該当に○印をおつけください)		
参加者 氏名	役職名	氏名	氏名
	役職名	氏名	氏名

太線枠内をご記入下さい。

※参加申込書にご記入いただいた情報は、受講証の交付、出席の確認及び当セミナーの運営管理業務の目的のみに使用させていただきます。